

3. 研究構想図（研究の内容）

学校目標 なりたい自分・仲間・学校に成るためにチャレンジする児童の育成

研究主題 **学びや成長を実感できる授業の実現**
～ 算数科の授業の質的改善を通して ～

授業の中で大切にしたい児童の姿

- ・最後まで粘り強く、一生懸命取り組む姿
- ・目標をもち、その達成に向けて試行錯誤しながら思考している姿
- ・誤答を宝物とし、学ぼうとしている姿
- ・自分の考えを他者に伝えようと工夫している姿
- ・他者の考えを受け入れ、自分の考えを広げたり深めたり高めたりしている姿
- ・自分の学びや成長をメタ認知し、次の学びへの意欲につなげている姿

授業の質的改善に向けた重点

**A 資質・能力を高める
単元（授業）構想**

- 単元を通しての教材研究
(構想シートの設定)
- ・ねらい・評価(指)・学習活動の整合
- ・効果的な課題・発問・活動の設定
- (指)児童の確かな見取り
(児童の考えの予測
⇒つまずきへの手立ての準備)
- ・効果的なICTの活用場面の設定
- ・板書の工夫

B 学び合いの充実

- 学びを深める発問の工夫
- (協)考えの深まり広がり高まり
がある**効果的な交流の場**
の設定
- (協)プロフェッショナルワード・
東陵式説明をもとにした
話し合いの仕方の指導
- (指)学**個々の思考過程**
見取りと適切な対応
(吹き出し説明・ノート指導等)

**C 学びや成長を実感させる
振り返る活動の充実**

- 自己の学びや成長を
多面的に見つめさせる
ふり返り**視点**の設定
- ・教科における資質や能力
- ・学習の基盤となる資質や能力
- 質を向上させる指導**
- ・よさを広げる指導
- ・教師のプラスの言葉かけ
(価値づけ)

互いを認め合い主体的に学べる集団づくり **基礎基本の定着**

- ◎**共通システムの構築** → ◎**共通実践**
- ◎**短いスパンでの見取り** → ◎**改善**
- 主体性の素地をつくる「東陵っ子授業スタンダード」の設定
→定期的な全校の取組「授業大作戦」
- 共感的な人間関係づくりのための「キラリタイム」の設定
(クラスキラリ・先生キラリ・おしゃべりタイム)
- 学級活動(1)の充実「成長の種」
- 「なりたい自分に向かってチャレンジ」する場の設定
→定期的なふり返り、効果的な教師の支援
- 学校行事等への取組(輝く場の設定)
- 授業集会や学校会議での共通理解・共通実践

- チャレンジタイムによる習熟
 - ・計算タイム
 - ・漢字タイム
 - ・タイピング練習
- 家庭学習による習熟
 - ・「目標→実践→ふり返り」を
もとにした自主学習
(けテぶれ・計画時間の設定)
- 朝の会のフラッシュカード
- (学)QubenaやA Iドリルの活用
- 朝読書の設定

(指) : 指導の個別化 (学) : 学習の個性化 (協) : 協働的な学び